



◆建築一式工事だけで 営業をしていますか？

建設業を営もうとする者は、軽微な建設工事のみを請け負う場合を除き、建設業の許可を受けなければなりません。軽微な建設工事には以下の条件が該当します。

- ・ 建築一式工事以外の建設工事で、一件の請負代金が500万円未満の工事
- ・ 建築一式工事で、一件の請負代金が1,500万円未満の工事または請負代金にかかわらず、木造住宅で延べ面積が150㎡未満の工事

建設業許可の29業種のうち、「建築一式工事」のみで営業している事業者の方も多いのではないのでしょうか。「建築一式工事」は、総合的な企画、指導、調整のもとに建築物を建設する工事と告示に定義され、東京都をはじめとする一部の自治体の手引書には、「建築確認を“必要”とする新築及び増改築」と例示(注1)されています。つまり、建築確認を“不要”とする工事は専門工事とみなされるため、建築一式工事の許可で請け負うことができません(建築一式工事の許可があっても、各専門工事業の許可がない場合、軽微ではない建設工事における専門工事を単独で請け負うことはできません)。

したがって、一式工事の許可だけでなく、大工工事、内装工事、解体工事、塗装工事など、該当する専門工事の許可が別途必要となる場合もあります。建設業法第47条によれば、専門工事の建設業許可を受けずに無許可営業を行った場合は法律違反となり、3年以下の懲役または300万円以下の罰金という、かなり重い罰則が科されます。

地域工務店の皆さんは、建設業法の適用を遵守し、必要な許可を取得することで、より安心・信頼される事業展開の実現に努めてください。ご不明な点があれば、専門家や関係機関にご相談いただくことをおすすめします。

注1) 自治体ごとに確認が必要です。

◆JBN全国会員交流会in大阪 基調講演・分科会紹介

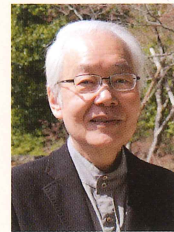
JBN全国会員交流会in大阪の基調講演と分科会の内容が決まりましたので、お知らせいたします。詳細は後日HPなどでご案内いたします。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

開催日 2023年9月26日(火)、27日(水)

開催場所 【基調講演・分科会・展示会】
大阪府立国際会議場(グランキューブ大阪)
【懇親会】
リーガロイヤルホテル大阪

基調講演講師 国際日本文化
研究センター所長 **井上 章一氏**

1955年京都府生まれ。京都大学大学院工学研究科建築学専攻修士課程修了。京都大学人文科学研究所助手、国際日本文化研究センター助教授、教授を経て2020年より現職。専門は建築史、文化史、風俗史。1986年「つくられた桂離宮神話」でサントリー学芸賞を受賞。「南蛮幻想—ユリシイズ伝説と安土城」『日本に古代はあったのか』『伊勢神宮—魅惑の日本建築』『京都ざらい』『ふんどしニッポン：下着をめぐる魂の風俗史』など著書多数。



分科会プログラム

第1部分科会	A	中大規模 木造委員会	工務店が使える新技術と2025年対応について 講師 飯塚 豊氏 (株式会社アイプラスアイ設計事務所 代表取締役) 講師 齊藤 年男氏 (株式会社細田工務店 理事)
	B	既存改修 委員会	工務店の未来と既存改修工事 講師 既存改修委員会 委員
第2部分科会	C	次世代 の会	新時代へ、地域工務店10年ビジョン ～山と繋がり、新たな領域を拓く～ 講師 古川 大輔氏 (株式会社古川ちいきの総合研究所 代表取締役)
	D	環境 委員会	高性能住宅が陥りがちな事故事例から学ぶ 講師 久保田 仁司氏 (有限会社第一浜名建築) 講師 古川 繁宏氏 (住まい環境プランニング合同会社)
第3部分科会	E	国産材 委員会	どうなる？ 世界の木材 日本の木材 講師 木村 司 国産材委員
	F	経営問題 対策委員会	地域工務店の事業承継実例紹介 講師 吉瀬 融氏 (株式会社 コアー建築工房 取締役会長)

◆第16期 第1回 理事会報告

4月21日(金) 14:00～17:00

場所 ビジョンセンター東京

参加者 理事総数20名のうち出席15名、監事総数3名のうち出席2名

第16期第1回理事会が開催され、第16期委員会委員長と事務局長会議の実施回数変更について承認されました。また、役員候補者選考規定一部改正と第18期(2025年度)全国

◆委員会報告

中大規模木造委員会

4月13日(木) 13:00～18:00

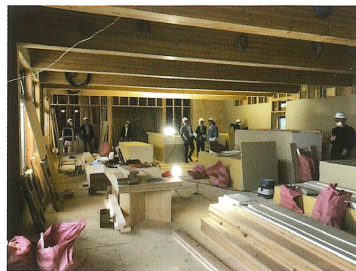
場所 広島市

参加者 9名

広島市内で建設中の広島建労会館の構造見学を行いました。施工者は全国木造建設事業協会 広島県協会 主幹事工務店。敷地面積663㎡、建築面積399㎡、延べ面積984㎡、高さ12.6メートル、階数は地上2階、地下1階です。

建物は45分準耐火構造として設計されており、利用者の目に多くふれる部分では、柱および梁を燃えしろ設計とし、内装の木質化(床、腰壁、ルーバー、家具)を図っています。公共建築物等の木質化を率先して実現するために地域材を多用しており、温暖化防止に寄与する環境に配慮した設計です。また、無垢の床や、塗り壁、大谷石、洗い出しなど自然素材にこだわった仕様になっています。

地元の職人と工務店で建築することを目的として、特殊な施工法ではなく、工務店と職人が普段から対応し慣れている木造軸組工法が採用されているため、普通の職人でも大規模木造が建築できる事例です。人手の確保には、広島県建設労働組合が元請工務店に職人を供給する方式(労働者供給事業)を採用し、安定かつ高度な職人(大工、内装工、左官工)を集めるスタイルに挑戦しています。



◆セミナー開催報告

関連事業者コラボセミナー【動画の学び舎主催】動画市場勉強会

4月6日(木)

場所 オンライン

参加者 92名

JBNの関連事業者会員である(株)満仲商店のご協力のもと、セミナーを開催いたしました。

スマートフォンの普及率は、昨年の時点で約90%を超えています。特に若者へのコンテンツ認知の8割以上がインターネットによるものであり、視聴率はテレビよりYouTubeの方が高くなっています。広告業界でも、インターネット広告費がマスメディア4媒体(テレビ・ラジオ・新聞・雑誌)の広告費を上回っており、費用対効果もテレビCMより高いとされていることから、動画広告が主流となっている現状です。動画市場の説明後、Adobe After Effectのソフトを使用し、実際に動

画を製作する過程を実演しました。その後、他業種による動画活用事例から、人材募集の目的で制作した動画により人材不足の解消を図り、その動画を視聴したお客さんからの新規受注依頼が増加した導入の成功例を紹介しました。

その後、参加者とディスカッション形式でセミナーを進め、動画の活用方法やメリットを知っていただくとともに、動画制作に関する質問や悩みを解決していきました。最後に満仲商店が運営している動画スクールMOVIMOの講座内容や入会メリットを紹介し、セミナーを終了しました。

本セミナーは、JBN正会員専用ページ内で動画配信をしています。

事業継承セミナー

4月20日(木) 16:00～18:00

場所 オンライン

参加者 37名

JBNでは、地域工務店にとって大きな課題である事業継承をテーマに、今年の2月から7月にかけて、毎月第3木曜日の16時からセミナーを定期開催しております。匠総合法律事務所の秋野先生をはじめ、多彩な講師が毎回2テーマについて講座を行うものです。今回は前半に秋野先生に「廃業かM&Aか?弁護士が着眼する視点の解説」を、後半は(株)日本M&Aセンターの田中様に「第三者承継のいろは～第三者承継という選択、譲渡前、譲渡後の準備～」をテーマに三者承継の実態、株式の譲渡前の準備、M&Aを検討するフローの流れを解説していただきました。

5月から7月のセミナーは以下の内容となります。

開催月	第1部内容	第2部内容
5月	M&Aをするとき、過去物件の瑕疵担保責任は引き継がれるのか?	建設業界のM&A事例 ～事業継承型M&A/今増えている成長戦略型M&A～
6月	事業継承の方法(株式譲渡・事業譲渡)と契約書の内容	会社を譲渡したら気を付けたいこと
7月	借金過多の会社がどのようにM&Aに臨むか	東京証券取引所「TOKYO PRO Market」上場活用セミナー

セミナー参加はJBNのホームページからお申し込み下さい。JBN正会員専用ページ内では、第1回目から動画配信しております。途中からの参加も可能です。是非ご参加ください。

連携団体紹介

Introduction of associated groups

2021年5月に設立された東京ビルダーズネットワーク(TBN)。もともとJBNでも中心的に活動をしていた工務店が多く参加しており、現在は33社の正会員(工務店)、2社の設計事務所、8社の賛助会員から構成されています。

東京都独自の省エネ基準である「東京ゼロエミ住宅」立ち上げの際には、東京の住宅の特性を踏まえて工務店としての提言を行うなど、都からの住宅施策に関する問い合わせ窓口としての役割も担っています。

東京都では、東京ゼロエミ住宅のほか2025年4月からは太陽光発電設置が義務化となるなど、省エネ関連の施策に力を入れています。都の求める水準に対応できるようにと、TBNでは勉強会や先進的な取り組みを行う工務店

東京都の住宅施策の窓口として機能「気軽に参加できる団体」を目指す

東京ビルダーズネットワーク

鈴木 晴之 会長



への視察などを実施。情報の共有を通して技術力の底上げを支援しています。また、全木協と連携し災害への備えにも注力。今年2023年には熊本への視察を行い木造応急仮設住宅についての知見を広げたほか、都に対しては用地確保の課題から2階建ての応急仮設住宅を提案するなど、危機意識を持った取り組みを続けています。

業界の現状を踏まえた実効的な活動を展開するTBNですが、会長の鈴木さんが一番大事にしているのは「会員同士のつながり」です。年4回の定例会の後には懇親会も実施していますが、これは会員同士が交流を深める場としても重要なものだと思います。

設立から2年程度と日が浅いこともあり、今度は会員数も増加させたい考

えですが、「いくら内容の良い勉強会を企画しても、ざっくばらんに話ができる雰囲気でなければ団体への参加率は上がらない」と鈴木さん。気軽に行ける、参加すれば楽しい、親しい人に会える——こうした場の提供により会員同士の関係を強化し、団体を活性化することが当面の目標です。

情報へのアクセスが容易な半面、とすると工務店同士の交流は希薄になりがちな東京において、TBNの理念が工務店業界を明るい方向にリードしていくことが期待されます。

▶熊本視察での木造応急仮設住宅施工実施研修の様子。今後はこうした視察の機会も増やしていきたいという。



工務店紹介

Introduction of construction companies

宮城県仙台市に本社を置く、2005年設立の建築工房零。無垢材を用い、地域の気候や環境と調和し、かつ環境への負荷が少ない家づくりを展開しています。小野さんは同社のほか、利府町にある「アオバクラフト」の代表も務め、こちらではより手の届きやすい価格で住宅を提供。2社合わせた年間の新築着工棟数は約40～50棟と、地元での支持を広げています。

零では分譲事業も手掛けていますが、ユニークな取り組みとして挙げられるのが「杜くらし」というプロジェクトです。庭がある宅地を複数分譲し販売。区画はあえて統一せず、それぞれの家が自然につながる緑豊かなコミュニティーづくりを目指しています。

「若者が地元で活躍できる会社」を目指し人材育成に注力

株式会社 建築工房零

小野 幸助 社長



「隣に誰が住んでいるか分からない、では寂しいし、“街づくり”がしたかった」と話す小野さん。現在までに仙台市内で4か所・20棟超の分譲が完了し、分譲後には実際に居住者同士の交流も生まれるなど、同社の理念を具現化する重要な取り組みとなっています。

また、組織づくりに力を入れているのも同社の大きな特徴。現在2社合計で58名の従業員が在籍し、社員の半数以上は新卒で採用。平均年齢は30代前半と、若手が活躍しています。

さらに13名いる社員大工たちは、社員自身のスキル向上と企業としての生産性向上のため、現場管理や基礎検査などの業務も広く担当。その育成手法は各方面から注目されています。

一方で、仙台という場所柄人材は東北6県各地から集まりますが、「地域の貴重な若者を奪っているという罪悪感もある」と小野さん。そこで今後の目標として掲げるのが「東北6県全ての支店の設立」です。

地域の特性を理解した家づくりを当たり前にする、そして若者には地元で活躍してもらう——こうした零の方針を実現するための各県への支店設立という目標ですが、根底には家づくりのみならず、従業員や地域への誠実かつ熱い思いが感じられます。

▶「杜くらし」根白石では居住者同士がバーベキューを楽しむなど、良好なつながりが生まれている。



◆ 採択された事業のお知らせ

国土交通省 令和5年度大工技能者等の担い手確保・育成事業

新人大工の育成及び研修を17県で開催予定です。

セミナー開催のお知らせ（詳細やお申込み方法の確認はHPの開催案内をご覧ください。）

事業継承セミナー

事業継承に関して会員が知りたいことや相談したいことなどのニーズを踏まえた上でカリキュラムを組む予定です。

このセミナーを通じて、単発のテーマだけでなく継続して受講することで、事業承継の準備を始めてください。

毎月講習会を予定していますので、詳しくはHPをご覧ください

<https://www.jbn-support.jp/succession/schedule/>



【セミナー①】事業継承の方法（株式譲渡・事業譲渡）と契約書の内容

【セミナー②】会社を譲渡したら気を付けたいこと

【開催日】6月15日(木)

【時間】16:00～18:00

【開催場所】オンライン

【受講料】無料

申し込みはこちら



「既存住宅の省エネ改修ガイドライン」講習会

IBECsの『既存住宅の省エネ改修ガイドライン』を学ぶ講習会です。このガイドラインは、既存住宅の省エネ改修において、どのような取り組みを行うべきかを、具体的に解説しています。

また、改修事例や改修にかかる費用の目安なども掲載されており、住宅のオーナーやリフォーム業者、建築士などが参考にできる内容となっています。

既存住宅の省エネ化は、地球環境保全に貢献するだけでなく、光熱費の削減などの経済的効果も期待できますので、多くの方々にとって有益な情報源となります。



【開催日】8月3日(木)

【時間】13:30～17:00

【開催場所】オンライン

【講師紹介】株式会社マツナガ
代表取締役 松永 潤一郎 氏

【受講料】1名3,000円（テキスト代・送料込）

【共催】一般財団法人住宅・建築SDGs推進センター

セミナーアーカイブのお知らせ

JBNがオンライン形式で開催した下記の講習会を、JBN正会員専用ページ内の「講習会オンライン動画アーカイブ」にて動画配信しております。

委員会主催セミナー

- 第1回 ～危機の時代の木材調達～
- 第2回木材産業の新時代 材木屋のイノベーション戦略～シン・ザイモクヤ 若手後継者たちの挑戦～

JBN関連事業者 会員コラボセミナー

- ・小規模事業者の理想の組織作りとマネジメントセミナー
- ・建築業界における課題と展望
住宅着工棟数激減をどう生き残るか？

その他

- ・令和4年度 工務店向け働き方改革セミナー
 - 第1回目－上限規制に対応するための労働時間管理
 - 第2回目－働き方改革へ対応 就業規則の作り方
 - 第3回目－定着率を上げるための給与の決め方
- ・令和4年度 工務店向け働き方改革セミナー（実務担当者編）
 - 第1回目－求人票作成ポイント
 - 第2回目－労務管理の基本
 - 第3回目－給与計算の基本と実務
- ・火災保険改定のポイントセミナー～引渡し済みの顧客(施主)へのアプローチ方法～
- ・「3000万台を受注するために必要な設計営業のポイント」セミナー1回目
- ・森林プラットフォームのDX化に向けた成果報告会

刊行物のご案内（刊行物のお申込みはJBNホームページをご覧ください。）



マナーアップハンドブック 【工事現場編】

手帳サイズ 32ページ

挨拶の基本から現場近隣への挨拶まわり、車の止め方、身だしなみ、言葉づかいなど現場マナーの基本をご紹介します。



中大規模施工施工管理マニュアル&講習会アーカイブ動画の紹介

A4版 87ページ

（正会員専用ページの動画アーカイブにて動画および資料がご覧いただけます。）

JBNは国土交通省令和3年度環境・ストック活用推進事業の支援により、木造住宅を中心に事業展開する大工・工務店が新たに非住宅木造建築の分野に参入することを想定した、地域工務店向けの「中大規模木造建築物の施工管理マニュアル」を作成しております。PWAで整備されている「構造木工事監理マニュアル」と併せて利用することにより、非住宅建築に求められる安全で高品質な木造建築物が我々の手で確実に施工されることを期待しています。

JBNはさまざまなご相談（技術、法律、支援等）をお受けしております。

ホームページ（トップページの最下欄）のお問合せフォームをご利用いただくか、下記へお問合せください。



【発行・お問合せ】

一般社団法人JBN・全国工務店協会 〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-4-10 京橋北見ビル東館6階
Tel.03-5540-6678 Fax.03-5540-6679 E-Mail:jbn@jbn-support.jp URL:https://www.jbn-support.jp